

さいとう淳一郎の日々の街頭演説を、紙上でお伝えしています。

次の世代のために…

“子どもや孫たちが帰ってくるまちづくり”を目指して  
栃木県議会議員

## さいとう淳一郎街頭演説レター

第 11 号

発行日 平成 24 年 10 月 1 日

発行者 栃木県議会議員

さいとう淳一郎

〒329-2136 矢板市東町 3006-3

### 国道 4 号土屋バイパスの整備促進を！

矢板市を通過している国道 4 号は、関東地方と東北地方を結ぶ大動脈であり、また栃木県のほぼ中央を縦貫していることから、県内経済の発展にも大きな役割を果たしています。

この国道 4 号の県内における整備については、本年度は高根沢町から矢板市にかけての「氏家矢板バイパス」が、年度末までに矢板 IC までの 4 車線化が完成します。

しかしその先については、那須塩原市三区町から西富山地内にかけての 4.6 km 区間が「西那須野道路」として整備される予定となっており、矢板市片岡から大田原市を経て、那須塩原市に至る区間の整備が取り残されています。

このうち矢板市土屋付近では以前から朝夕の通勤時間帯を始めとして交通渋滞が著しく、まさに“ボトルネック”（詰まりやすい場所）となっており、住民生活や産業に大きな悪影響を与えています。

そこで私「さいとう淳一郎」は、矢板市土屋付近から大田原市立石上小学校前にかけて、(仮称)「土屋バイパス」を整備することで渋滞を解消し、円滑な交通を確保していくことを提案しています。

私「さいとう淳一郎」は、去る 9 月 27 日の県議会本会議において、この「土屋バイパス」の整備について質問しました。県土整備部長からは、今後ともあらゆる機会を捉えて、関係市町と連絡を密にしながらか早期事業化が図られるよう取り組んでいきたいという答弁を得たところです。

国道 4 号は国の直轄国道です。そこで私「さいとう淳一郎」は地元選出の「渡辺よしみ」代議士、「みんなの党」の「渡辺よしみ」代表とがっちりスクラムを組んで、(仮称)「土屋バイパス」の早期事業化に向けて全力を尽くしていきたいと考えています。